



2023. 6月第655号

発行所 アシュラムセンター
523-0894 近江八幡市中村町 567-2
Tel 0748-33-4030
Fax 0748-33-8856

アシュラムセンターホームページ
www.ashramcenter.jp

編集 アシュラム誌編集委員会

振替 01050-6-53772
アシュラムセンター

印刷 明文舎印刷商事(株)

解題

アシュラムとはインドの言葉で「退修」という意味で、スタンレー・ジョーンズ博士によって日本に紹介されたものであります。祈りの生活をもって前に自らを整え、今日に於ける主のご委託にこたえんというのがその願いです。

兄エサウを騙し、父イサクの祝福を奪ったヤコブ。こんな狡猾で利己的な弟に対して、悪印象を持つ人は多いことと思う。確かに、この狩猟好きの兄は、あまり思慮深くなく、空腹を満たすために、弟の作ったパンとレンズ豆の煮物とを交換に長子の権利を渡すという大失態をおかす。しかも、弟ヤコブの名は、先に生まれた双子の兄の踵(アケブ)を掴んで生まれたことに由来し、それは、結局兄の足を引っ張る(アーカーブ)こととなると、聖書はあらかじめ伏線を張っているのだ。

どうも、呑気な父イサクの遺伝子を受け継ぐエサウと計略をもって愛する弟に祝福をもたらそうとした母リベカにそっくりなヤコブは、母の胎にいる時から、争い、それは後に「二つの民があなたの腹の内で分かれ争っている。一つの民が他の民より強くなり兄が弟に使えるようになる」(創25:23)との主の言葉通り、エサウはエドム人の祖となり、イスラエルと敵対し争うことになる。

世界中の王位継承物語や民族成立譚には、このエサウとヤコブの兄弟の逸話とよく似たものがある。まさに人間の歴史とは、骨肉相食む恐ろしい世界だとつくづく思わされるのではないだろうか。

瞑想

神があなたに、天の露と肥沃な地を、豊かな穀物と新しいぶどう酒を与えてくださるように。

創27:28(協)

主幹牧師 榎本 恵

過日報道されていたイギリス王室の例を出すまでもなく、そこにはドロドロとした人間模様が渦巻くのだ。しかし、それは決して、彼らやんごとなき人々の場合だけではない。私たちの周りでも、親の遺産相続をめぐるゴタゴタや企業や政治家の後継者争いなど、なんとも気の重くなる話を耳にする。しかし、そこまでして彼らが得たかったものとは一体何であったのか。富、権力、支配、名声、それらは確かに魅力的ではある。権力の継承とは、まさにそれなのであろう。けれども、あのヤコブが父親を騙してでも奪いたかった神のたった一つの祝福とは、そんなものであったのだろうか。私はそうではないと思う。「天の露と肥沃な地を、豊かな穀物と新しいぶどう酒を与えてくださるように」(創27:28)というイサクの祈りも、それに続く「多くの民がお前に任せ、多くの国民がお前にひれ伏す。お前を呪う者は呪われ、お前を祝福する者は祝福されるように」(創27:29)にこう言うのだ。「あなたがたは、自分が何を願っているか、分かっている。このわたしが飲もうとしている杯を飲むことができるか」(マタイ20:22)と。神の祝福とは決してこの世の富や権力、支配や名声ではない。いやむしろ主ご自身さえも「できることなら、この杯をわたしから過ぎ去らせてください」(マタイ26:39)と苦しみに悶え祈った十字架、それが、神の祝福なのである。

友よ、あなたは神の祝福を何に求めているか。富か、名誉か、それとも権力か。しかし、神の祝福は、この苦い杯を飲むことなのだ。あなたは、それに「はい」と答えられるだろうか。実に、ゼベダイの子の母は、イエスの十字架を最後まで見届けた女たちの中に数えられている。友よ、私たちも、ヤコブのように、ゼベダイの子の母のように、神の祝福を求めるものとなろうよ。

阪神一日アッシュラムに参加して

村田 充子

す。

初めてアッシュラムに参加した翌日、アッシュラムの「10の心構え」と日程表のページを読み、アッシュラムとはどういうものかということが理解できると同時に、猛然たる後悔と羞恥に襲われました。

ひとりひとり神様の御言葉に聴く「静聴」の時を、アッシュラムの醍醐味を私の長い自己紹介で無惨にも台無しにしてしまいました。

家長の榎本先生にも、ファミリーの皆さんにも本当に忙しい思いをさせてしまい申し訳ない気持ちでいっぱいです。…が、このよ

うな主にある交わりに参加するたびに思うことは、初めてお会いした人達なのに安心して躊躇なく話せることで

数日前からの緊張が開会礼拝のメッセージを聴き、賛美しているうちにスルスルと解けてゆく音が聞こえるかのようにでした。それは勿論、あの集まりの中心にイエス様がいてくださり、参加者おひとりおひとりの内にイエス様が留まっています。ださるからでしょう。

また主題聖句ロマ14…9「キリストが死に、そして生きたのは、死んだ人にも生きるためです。」という御言葉に、今まで特に気にとめることもなく読んでいました。30分間その部分に集中して読んでいますと、今この世で生きている私の内に居て下さり、日々犯してしまう罪を

悔い、憐れみを請う祈りをささぎ、神様に取り成しをして下さり、そしてまた次の世ではイエス様を顔と顔を合わせてお会いすることが出来る。その為にイエス様は十字架上で苦しんで死に、3日後に復活し、今も生きて働いてくださっているんだという喜びと感謝に満たされました。と同時に、必ず、終わりの日がある、という思いがさらに強くなりました。

エフエソ2…12「だからわたしの愛する人達、いつも従順であつたように、私が共にいる時だけでなく、いな

今は今なおさら従順でいて恐れおののきつつ、自分の救いを達成するようになさい」とパウロが言うように、イエス様を信じているから救われている、とただ安心するのはなく、私の内でイ

エス様がこの世的なものが入り込むすまがない程に大きく、大きくなつて下さるよう日々を祈りつつ、そして自分の救いを達成するよう努めつつ、残り少ない人間を生きたいと願っています。終わりの日に、イエス様に「あなたを知らない、と言われることがないように。」

またアッシュラムに参加できる機会があります。



日本キリスト教団 神戸聖愛教会にて。阪神ミニアッシュラムもこちらで開催されています。(毎月第1金 PM1:00~) ご参加お待ちしております。

したら、今度こそファミリーの皆様に迷惑をおかけしないよう、そして自分自身静聴の時、恵みの時、充滿の時を静まって経験させていただき、神様の恵みを、聖霊を豊かに受けさせていただけられるようにと願っています。

あのような恵まれた集いに私を呼んでくださった神様に感謝いたします。

本当にいろいろ良い学びをさせていただきました。ありがとうございます。皆様に主の平安がいつもありますように。

主にあつて

(無教会)

◀亀井姉、猪瀬姉も天からきつとご参加！今も祈りつつ。



盛岡・秋田アシュラムの朝 榎本和子母、早天での祈り（Zoomで参加！）

祈りをささげて下さっています事、覚えて感謝いたします。1日も早く早く元気になって、また皆様と共に祈りを、顔と顔を合わせて祈る事ができますように。

皆様のお元氣そうなお姿、本当に嬉しいです。これからもアシュラムのために祈って下さいますように。

こんなていたらくでございませうが、もうすぐ立ち上がれると思

いますので、これからもよろしくお願ひいたします。

主イエス様の御名を通して、感謝しておささげいたします。



笑ったり歌ったり、手踊りしたり、るつこ姉と漫才?したり...涙したり。お祈りもみことばも和子母といつも共にあり。

第31回盛岡秋田アシュラム」の感謝

主の御名を讃美いたします。

盛岡アシュラム 31 回まで開催出来ますことは奇蹟です。深く感謝しています。細川泰子先生はアシュラムを盛岡で開催を切望しておられましたが、ご生前中は1回しか開催できませんでした。それが31回も開催できるのですから、天国でどんなにか、お慶びかと思ひます。

角谷 晋次



早天祈禱会 盛岡秋田アシュラム、朝禱会。センターZoom合同で！



いえじま 雑記2 香川へ

先日、空海の生誕 1250 年を祝う香川の善通寺を訪れました。四国学院大学で講演するためです。二日間の短い滞在でしたが、天候にも恵まれ、二杯のうどんと焼肉——ソウルという築山広子姉のお知り合いのお店です——を食べて、伊江島に帰ってきました。今回呼んでいただいたのは、四国学院大学でキリスト教学などを教えていらっしゃるネルソン・ジョシュア先生のお招きがあったからでした。彼と出会ったのはまだ私がニューヨークにいた頃ですので、2016 年ごろ。近郊の神学校で学んでいた彼が、当時私たち夫婦が住んでいたマンハッタンの日米合同教会を訪ねて来られたのがきっかけでした。お会いしたのはそれきりでしたので、もちろんそれから数年後に香川で再会することになるなどとは想像もしていませんでした。人との出会いの不思議を思わされた次第です。そんなところに神の摂理を読み取ってしまうのは、人間の性なのでしょう。結局のところ人間は、ある出来事がどう起こったのか、その経緯を説明することはできても、それがなぜ起こったのかは、神にでも頼らない限りうまく理解できないようです。次にうどんを食べられるのはいつになるでしょう。

榎本 空（ノースカロライナ大学院生、沖縄伊江島在住）



←加古川祈りの家、再開！感謝します。広野祈りの家からお二人もご参加。



←齋藤・稲荷ファミリー、遠方より、和子母のお見舞いに、希姉、愛犬とお出迎え。信仰の友。



←みんなのカフェいろいろば聖書入門講座5月。皆様のびやかに分かち合い。



←5月修道場アシュラム終了後、ラビリンズの上で、晴れやかに！(感想は次号に)



←5月夕礼拝、青年が4、5人も！夏のリトリートに希望



私は昨年、圧迫骨折をしてしまい、今も治療中ですが、多くの方の祈りに支えられ、主に守られ過ぎております。

木田和子(明石)

ブラジルから宣教師を迎えるについてのお願い

それから、イエスは言われた。「全世界に行って、全ての造られたものに福音を宣べ伝えなさい。マルコ16:15

イエスは主なり。

この度、ブラジルアライアンス教団ブラジリア日本語教会の安井牧師のご紹介で、一人のブラジル人宣教師を、私たちアシュラムセンターでお迎えすることとなりました。

1977年の榎本保郎牧師の召天の年より、アシュラムセンターでは変わらず、台湾、ブラジル、北米のアシュラムの友との交わりを欠かさず続けて参りました。あれから50年近くの時が流れていき、初めてブラジル人の宣教師を迎え、このアシュラム運動を直接伝えていくことができることは感謝であります。

もはや台湾も、北米も、ブラジルも、日本語を話す日系人を中心とした宣教ではなくなりつつあります。そのような中で、この度、サルバドール・メトロポリタン・バプテスト教会が全面的に支援し、42歳になるアベルモン・バストス宣教師を、日本に送り、その受け入れを2年間アシュラムセンターで引き受けることとなりました。

今、彼を受け入れるために、日本の外務省や法務局と交渉中です。おそらく、夏までにはビザの申請許可が下りることを願ひ祈り、努力しております。しかし、なにぶん初めてのことであり、また外国人を受け入れるということで、未知のことが多くあります。ただ、彼の渡航費用や生活費用については、ブラジルの側で支援会が作られ、そこが責任を持ってくださいます。私たちは、彼の住む場所の整備、並びに生活全般のお世話とアシュラムの働きを知ってもらうということを中心に考えております。まだ、日本語も辿々しく、そこから始めなければなりません。即戦力というわけにはいかないです。

どうか、この宣教師受け入れのために、皆様のご理解、ご協力、そしてお祈りをお願いいたします。緊急には、ビザ申請のための手続きに、行政書士にお願いしたり、細々とした費用がかかって参ります。また、彼に住んでもらうために、旧修道場の改修工事が進められております。何卒、これらのことのために、献金をお捧げください。

このことが、必ず、主の大いなる御業となると、信じて進めております。皆様のお祈り、ご支援をよろしくお願いいたします。

アシュラムセンター アベルモン基金
献金目標 100万円

アシュラムセンター主幹牧師 榎本恵



恵師と、アベルモン宣教師。今年2月のブラジル伝道の旅にて。



〈誕生日カード感謝のお便りより〉私今年、主人(98才)を亡くしましたが、毎朝写真の前で話しかけて居ります。アシュラムのお陰で楽しい教会生活を送る事が出来、感謝一杯です。年とればとる程感謝です。森よし子(西宮)

ご参加
募集中!

沖縄巡礼の旅 2023

日程ご案内(予定)

- 6月21日(水) 那覇空港集合 PM2:00
○サマリア人病院ディナイトケアの方々と交流会
(那覇市内泊)
- 22日(木) ○糸洲第二外科壕跡
入口まわりの清掃
沖縄の方々と慰霊祭、ふくぶく茶
○沖縄聖書教室 PM6:30~
book cafeゆかるひ(那覇)
(那覇市内泊)
- 23日(金) ○伊江島訪問、ぬちどうたからの家、ビーチ
(伊江島泊)
- 24日(土) ○沖縄本島観光、午後解散

◆会費 60,000円
宿泊費(3泊分)、レンタカー代、フェリー代、食費、入館料、会場費等。
(航空運賃は含みません。各自、お取り下さい。)

当日の天候、出会い等により計画変更もあり。今回は久しぶりに伊江島一泊も予定。ビーチでの早天祈禱会をお楽しみに…。

参加お申し込みはお早めに!
電話 0748-33-4030
FAX 0748-33-8856
ホームページでも可

沖縄で祈りつつお待ち下さっている方々に感謝です。この旅が、主の平和、への一歩となりますように。

主幹牧師の2022年度の振り返りと2023年ビジョン(5)

第48回
年頭アシュラムにて
語られた



恵師アシュラムセンターにて16年。早天祈禱会は黙示録から、また創世記へ(3巡目)。センター聖書教室は詩編終盤に。次は？皆様と一緒に聖書を味わい進める日々を感謝しています。

まさに「信仰告白という点を、信仰生活という線にする」(榎本保郎牧師)という、この聖なる生活を目指し、落ち着いた生活を送ることこそが、私たちアシュラム運動の目指すべき、最大のビジョンなのです。何よりもまず、私たちは、このことを掲げることから、はじめましょう。ともすると、マンネリ化してしまいそうになる、日常の信仰生活ですが、そこにも主が新しいことを興されることを信じ、続ける者となってまいりましょう。

では、2023年の主幹牧師4つのビジョンを発表します

1) 海外アシュラムについて

コロナの影響によって、海外でのアシュラム集会は、3年連続で中止となりました。しかし、今年は、2月13日「台湾愛修会」、そして翌週19日からは、「サンパウロルージュ教会のアシュラム」、26日「ブラジリアアシュラム」と台湾、ブラジル、そしてニューヨークへ約1ヶ月の伝道旅行へと行ってきます。私ももう今年で62歳になり、特に飛行機で24時間以上離れたブラジルへの旅はキツク感じるようになってきましたが、顔と顔を合わせ、共に祈り共に分かち合う時を持ちたいという日系ブラジル教会の熱意に応えることは、大変重要なことであると信じています。実は、本年6月よりブラジリアアライアンス教会の安井牧師からの紹介で、一人のブラジル人男性が宣教師として、アシュラムセンターに来ることになりました。2年間の予定で、アシュラムセンターが受け入れ先となり、派遣元であるブラジルバプテスト教会の全面サポー

トのもと、アベルモン・バストス君43歳を、センターで預かることとなります。彼は3年前に、ブラジル宣教チームとして来日、アシュラムセンターにも滞在し、帰国後日本宣教を志し、特にこの祈りの運動を行っているアシュラムセンターに興味を持ち、ここを拠点にし、働きたいとの希望を持っていました。何度かの話し合いの後、住む場所については提供できるが、その他金銭的な面でのサポートはブラジルのバプテスト教会が支援するという約束のもと、受け入れ準備を始めています。その彼との最終的な打ち合わせのためにも、今回のブラジル訪問は大変重要な意味を持つと同時に、40年以上にわたるブラジル教会との交わりの中で、ついにこのような時が来たことに、新しいことを興させる神の不思議を思います。もちろん、言葉も通じず、生活習慣も異なる、ブラジル人を預かることは、不安もありますが、このことを通しても、神の栄光が顕れることを信じて新しい歩みを始めていきます。(続く)



かつて修道場は、青年達で活気に満ちていた。しばらく空き家だったため、建物が傷み、心も痛んでいたが、この度、修理されることに。感謝致します。またこの場が活かされますように！写真は2018年1月。その頃、土曜日の早天祈禱会は修道場で。手作り朝食付き！

あしがき

早いもので、今年度も半分が過ぎようとしている。「時のある間に、全ての人の対して、特に信仰によって家族となった人々に対して、善を行いましょう」(ガラ6・10)まさにこのみ言葉の通りである。アシュラムセンターの働きも、コロナの第五類への移行とともに、徐々に回復しつつある。私もそれに伴い、各地へ出かけることが多くなってきた。そして、どんな困難の中にあっても、決して希望を失わず、祈り続けているアシュラムの友と出会い、胸を熱くしている。私たちは、孤独ではない。いや、孤独であればあるほど、見えない友と出会うのだ。そしてその最高の友とは、主イエスキリストそのお方である。今年度後半も、各地アシュラム、またセンター主催アシュラムが計画されている。どうか、再び集い、祈り合い、分かち合い、励まし合おう。この時を生きたい(恵)



ユースリトリートアシュラム、8月13(日)〜14(月)(前後泊可)に決定! 詳しいご案内は次号に。

中止、又はオンラインに変更もあり。
ホームページ、電話等でご確認下さい。
直前の変更の場合あり!

6月の聖書教室など

【主な問い合わせ先】
0748-33-4030
アシュラムセンター

2(金)	阪神ミニアシュラム (神戸聖愛教会 PM1:00)
6(火)	Zoom聖書教室 (Zoom AM10:30、PM7:30)
10(土)	聖書と学び会 (Zoom PM8:00)
11(日)	ちいしば牧師記念チャペルタ礼拝 (PM5:00)
12(月)	福岡聖書教室 (博多クリオコートホテル PM1:30)
16(金)	センター聖書教室 (アシュラムセンター AM11:00)
19(月)	箴言に学び会 (Zoom AM10:30、PM7:30)
26(月)	静岡聖書教室 (旧・英和女学院宣教師館 AM10:00、PM1:30)
27(火)	東京聖書教室 (御茶ノ水クリスチャンセンター 4F AM10:30)
27(火)	しみじみする会 (桜美林大学 荊冠堂チャペル PM2:30)
28(水)	美しい足の会 (Zoom AM10:30、PM7:30)
7/7(金)	阪神ミニアシュラム (神戸聖愛教会 PM1:00)

6月のアシュラムなど

17(土)	第22回 新潟一日アシュラム (日本キリスト教団 新潟教会) 奉仕者 櫻本 恵師	0250-23-2697 吉澤昭男師
19(月) 21(水)	第47回 教職アシュラム (八王子市 大学セミナーハウス) 主奉仕者 小山田 格師	048-789-1325 加々美要師
21(水) 24(土)	沖縄巡礼の旅 2023 奉仕者 櫻本 恵師 空兄	0748-33-4030 アシュラムセンター
30(金)	第28回 三重アシュラム (津ルーテル教会) 奉仕者 櫻本 恵師	059-322-6687 高志洋美師

7月のアシュラム予定

8(土)	第4回 四国一日アシュラム (日本キリスト教団 三島真光教会) 奉仕者 櫻本 恵師	0748-33-4030 アシュラムセンター
17 (月・祝)	第26回 福岡一日アシュラム (日本キリスト教団 福岡中部教会) 奉仕者 櫻本 恵師	0748-33-4030 アシュラムセンター
20(木) 22(土)	常任運営委員のための修道場アシュラム 奉仕者 櫻本 恵師	0748-33-4030 アシュラムセンター
22(土)	天上の友を憶える日の礼拝 PM1:30 奉仕者 櫻本 恵師	0748-33-4030 アシュラムセンター

8月以降のアシュラム予定

8月13(日)~14(月)	ユースリトリートアシュラム (New!)
9月28(木)~29(金)	第11回 日光オリーブの里アシュラム
9月30(土)	水戸バプテスト教会一日アシュラム (New!)
10月12(木)~14(土)	加太アシュラム
10月30(月)~11月1(水)	第18回 国際正義・平和アシュラム in 新潟
11月1(水)~3(金)	第48回 京浜アシュラム

みことば



日本基督教団仙台宮城野教会牧師
アシュラムセンター協力牧師
齋藤 篤

『畑を買ったので、見に行かねばなりません。
どうか、失礼させてください』と言った。

ルカによる福音書14章18節

先日、ある方の葬儀を執り行いました。人生の最晩年に「神の救いを信じて洗礼を受けたい」と告白され、病床洗礼をお受けになられて、そのひと月後に神様の御許に召されました。病で苦しまれるなかにあっても、気品があり、凛とされた御姿に、とても感銘を受けました。

葬儀の席上、遺族代表の方が挨拶のなかで、その方は長年茶道に親しんでおられたことを話してくださいました。茶道で大切にしている精神に「一期一会」というものがありますが、まさに一度一度の出会いを大切に、誠意をもって人に接しておられた。私がおの人に感じた気品とは、そういうところから来ているのだと思われたのです。

さて、上に掲げた聖句は、イエスが「神の国のたとえ」で語られた一節です。ある人が大宴会を催そうとします。いろいろな人を招待しますが、多くの人々から参加を断られてしまいます。畑を買ったので見に行かなければならない、家畜のことが気になる、新婚だからと、その理由はさまざまでした。

確かに宴会に招かれることを断った人々にとって、真っ当かつ本当に大切な理由だったのでしょうか。しかし、その人たちに欠けていたのは「一期一会」という感覚だったのではないかと。そう思えてならないのです。与えられるひとつひとつの出来事に、いかに誠実な思いをもって向き合うことができるか。私たちにはそんな思いが求められているのだと。

コロナ禍も終わりを告げようとしています。私たちはこの3年間、じつに重く苦しい道を通らされてきました。当たり前前かがみで決して当たり前ではなかったからこそ、普段なら見過ごしてしまうようなことにも、感謝の思いを寄せることができたのだと思います。

しかし、日常が私たちのもとに戻ろうとしている今、だからこそ、神が与えてくださる「一期一会」というものを、私たちがいかに大切にできるだろうか。そんなことを思われるのです。